施工説明書

INAX

吐水口引出式
シングルレバー混合水栓

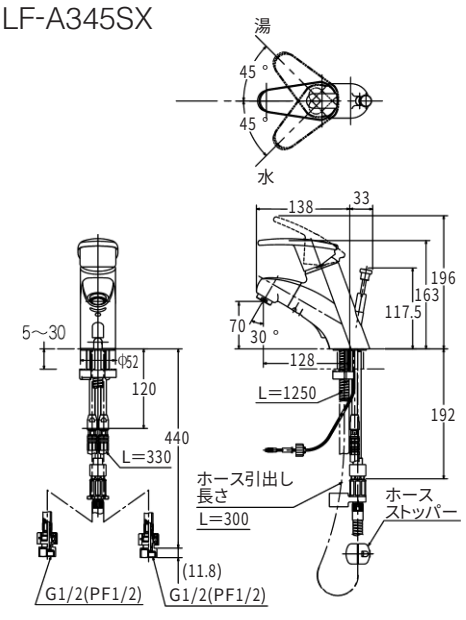
一般地用
LF-A345SX
LF-A345SX-MB10

寒冷地用
LF-A345SXN
LF-A345SXN-MB10

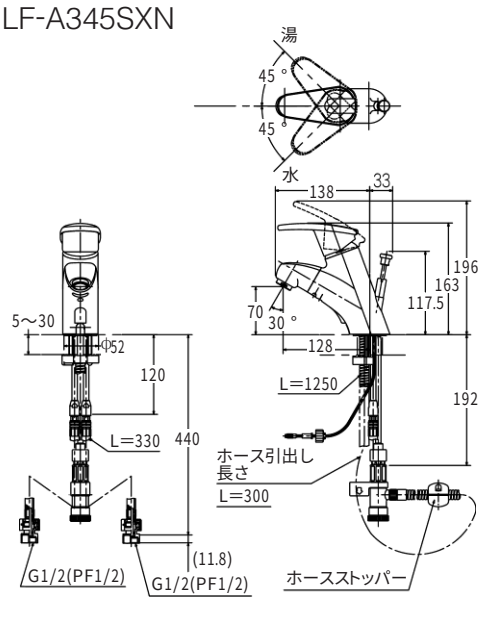
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

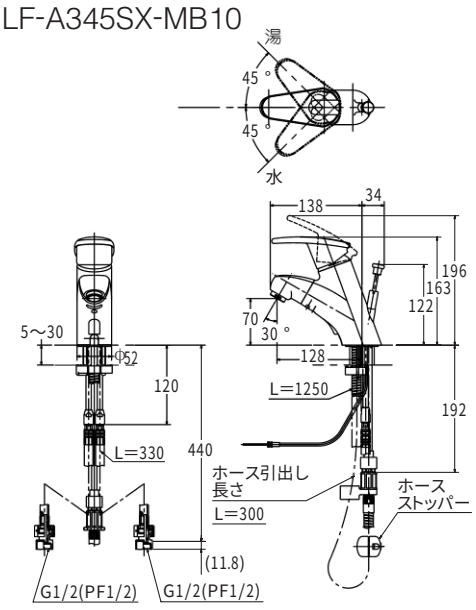
一般地用
LF-A345SX



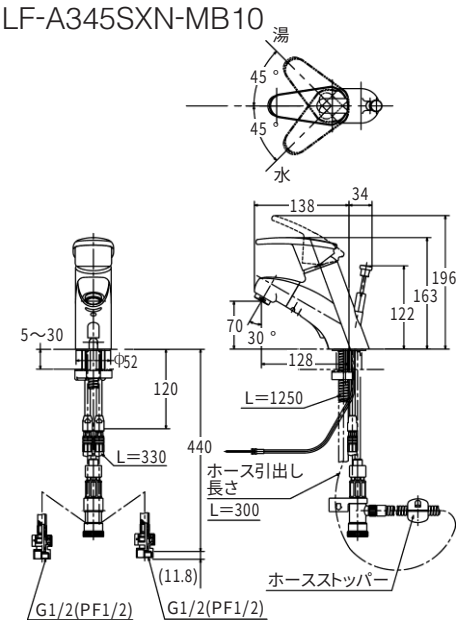
寒冷地用
LF-A345SXN

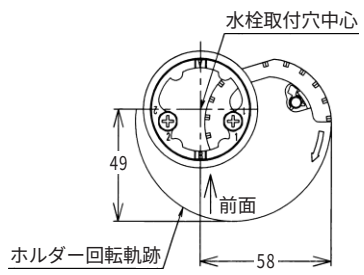


一般地用
LF-A345SX-MB10



寒冷地用
LF-A345SXN-MB10





※カウンター裏面にホルダーが回転可能なスペースを確保してください。

※カウンター穴あけ寸法はΦ36$^{+2}_{-1}$で行ってください。カウンター厚5～30㎜。
※陶器に取り付ける場合は、ホルダーパッキン(50-1047)を別途手配してください。

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠注　意	
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。	⊘
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	❗

●使用条件

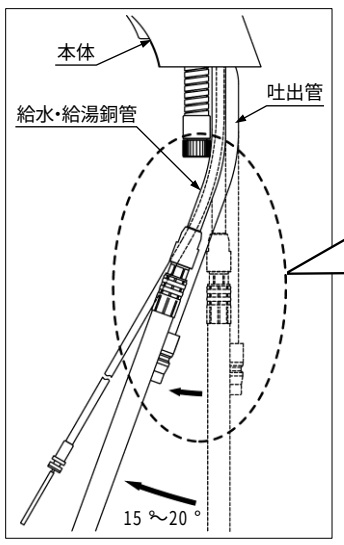
●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器(比例制御式：16号相当)と組み合わせる場合〕
給水圧力 { 最低必要圧力……A＋0.05MPa {0.5kgf/㎠}
　　最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}
　　Aはガス給湯器の最低作動圧力です。
●測定条件
※レバーハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。
〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
　　最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}
●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。
●給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠} を越えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で0.20MPa {2kgf/㎠} 程度に減圧してください。
●給湯に**蒸気**は使用できません。

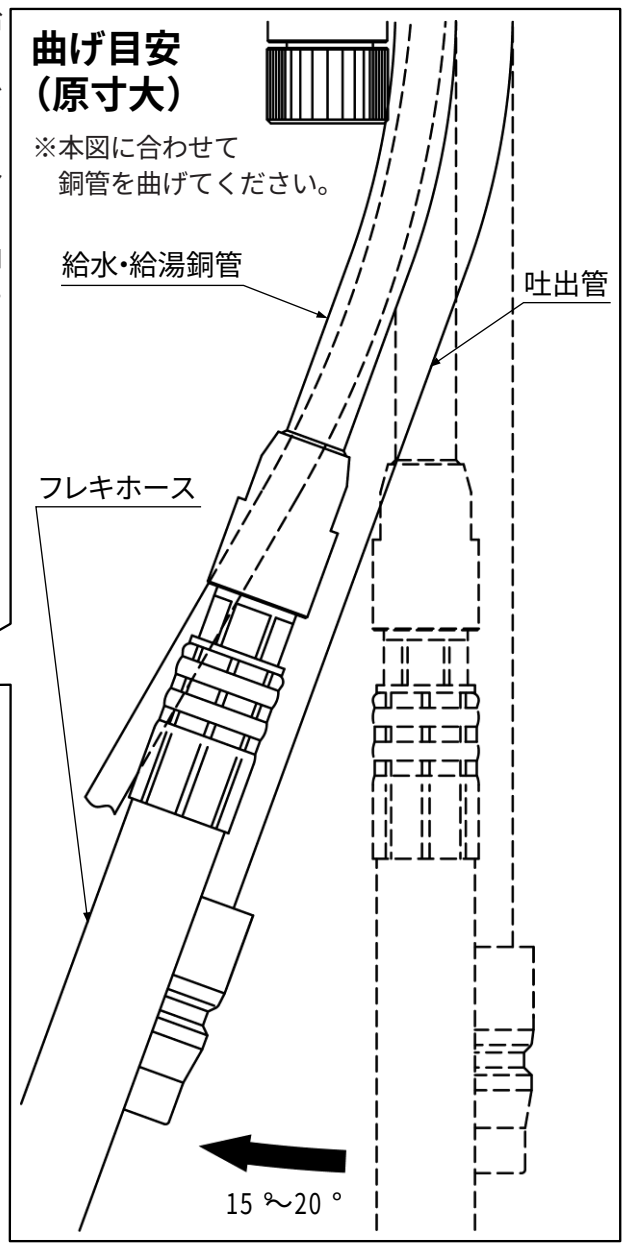
●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通りに湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●取付けに必要な工具(プラスドライバー、スパナ(対辺8))を用意してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。
●給水・給湯用止水栓の取出位置は化粧台の施工寸法に準じてください。

●化粧カウンターMCZシリーズの木製3面鏡特注等で施工の際に収納ミラー部が干渉する場合

以下の要領で、吐出管と給水・給湯銅管を手前にゆっくりと曲げて施工してください。
銅管の曲げは根元より20～30㎜下のところで行ってください。(根元のところで曲げると、上部施工ホルダーに取付けできなくなることがあります。)





株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター　商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
(年末年始、夏期休暇は除く)

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などでご利用になれない場合があります。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

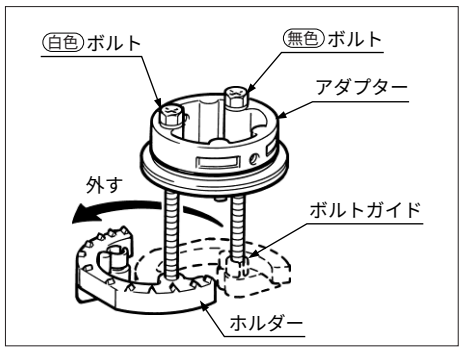
1. 上部施工金具の取付け

上部施工金具に同梱の**「クイックワン施工」**説明書に従い、正しく取り付けてください。

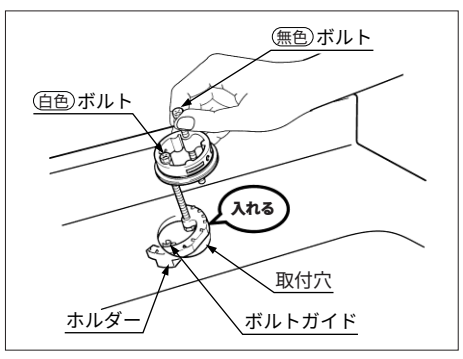
※上部施工金具を正しく取り付けないと、水栓本体の固定強度が低下するなど、不具合の原因となります。

⑴(無色)ボルトをボルトガイドから外し、ホルダーおよび各ボルトの先端をカウンターの取付穴に挿入します。

※ボルトの頭が白いのが(白色)ボルト、色なしが(無色)ボルトになります。



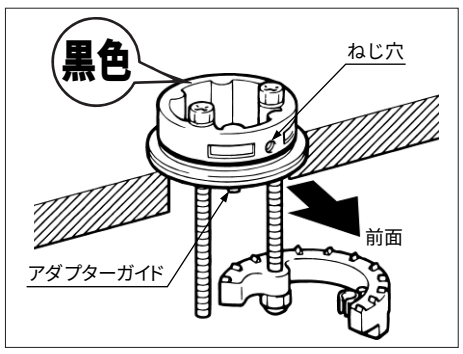
※(無色)ボルトが取付穴に干渉するときは、(無色)ボルトを途中まで引き出してください。
(無色)ボルトは、アダプターから抜き取らないでください。)



⑵アダプターの**黒色**印が**後方**にくるようにし、ねじ穴が前面を向くように位置決めします。

※アダプターガイド4本が取付穴に確実に入っていることを確認してください。

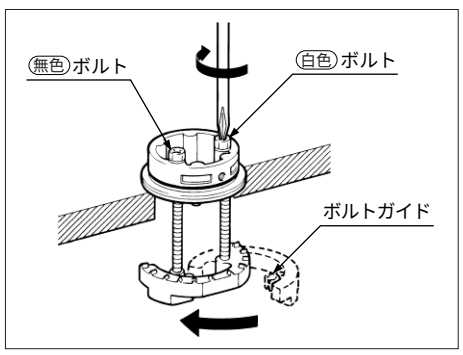
※**黒色**の印を**後方**にしないと水栓本体が取り付けられません。



⑶アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで(白色)ボルトを**ゆっくり**1～2回転程度締めます。

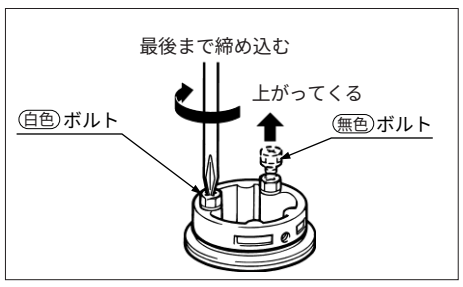
※(白色)ボルトを回すと、ホルダーが連動して回り始め、ボルトガイドが(無色)ボルトに装着されます。

※ホルダーがカウンター裏面の壁にぶつかる等ホルダーが連動せず空回りするときは、カウンター裏面の空いたスペースで指でホルダーを回し、ボルトガイドを(無色)ボルトに装着してから、再び(白色)ボルトを締めてください。



⑷アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで**(白色)ボルトを最後まで締め込みます。**

※(無色)ボルトが上がってきますので、ご注意ください。



⑸プラスドライバーで(無色)ボルトを最後まで締め込みます。

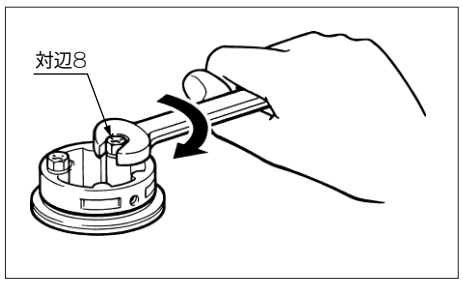
⑹各ボルトを交互に締め付け、しっかりと固定します。

※ボルトの締付力が均等になるようにしてください。

⑺スパナ(対辺8)等で各ボルトをそれぞれ1/2回転程度増し締めします。

※締め付け過ぎないでください。ボルトが破損する恐れがあります。

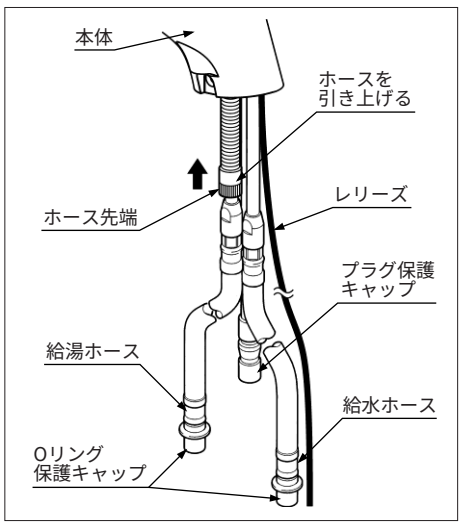
※アダプターのぐらつきがないことを確認してください。



2. 水栓本体の取付け

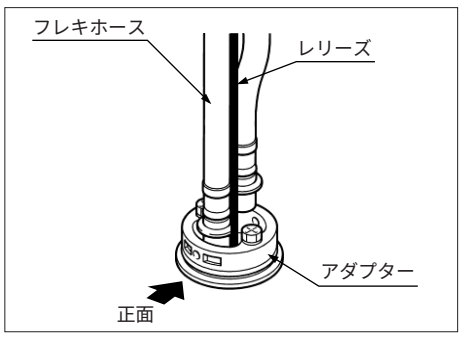
⑴ホースの先端が本体の中に入るまでホースを引き上げてください。

※Oリング保護キャップおよびプラグ保護キャップはソケットおよびカプラーと接続するまで取り外さないでください。

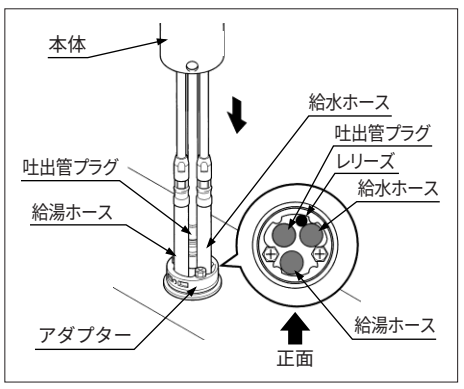


⑵フレキホースをアダプターに挿入の際は、レリーズの先端を先に入れ、フレキホースの先端を縦並びにし、更に上下にずらして挿入します。

※横並びにすると、アダプターとフレキホースの先端が干渉し挿入できません。

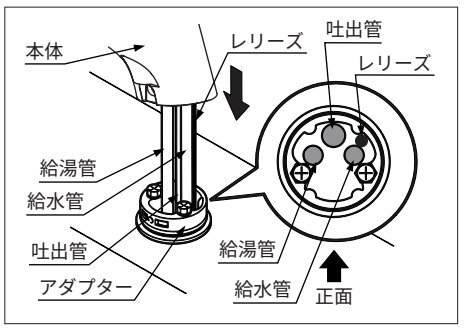


⑶本体がアダプターに挿入される直前までは、図のようにフレキホースが縦並びになる向きで本体を挿入します。



⑷本体がアダプターに挿入される直前で本体を正規の位置に戻し、アダプターに装着します。

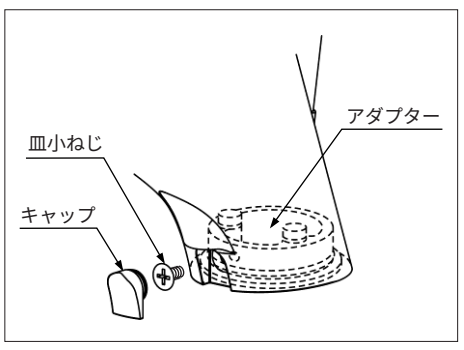
※本体が正規の位置に回転可能となる前に無理に回すと、給水・給湯管、レリーズ等が破損し、漏水の原因となります。



⑸水栓本体の穴、アダプターのねじ穴が全てそろっていることを確認した上で水栓本体をアダプターに皿小ねじでしっかりと固定します。

※水栓本体にガタつきがないことを確認してください。

⑹キャップをはめ込みます。



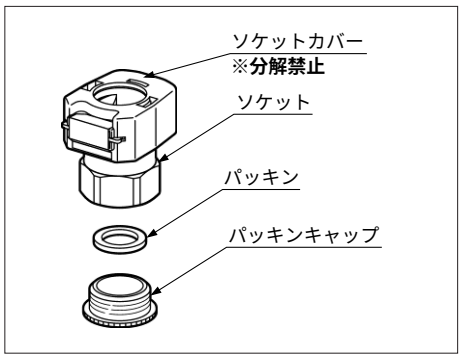
3. ソケットと止水栓の接続

当製品はスーパークイックジョイントを採用しています。
スーパークイックジョイントは、給水・給湯ホースを差込むだけで、ワンタッチ接続できます。以下の注意事項を必ず守ってください。

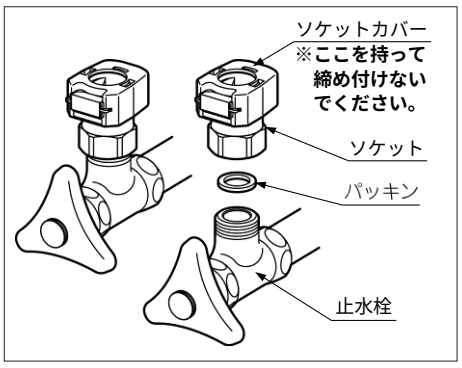
⑴パッキンキャップを取り外します。

※パッキンを紛失しないように注意してください。

※**ソケットカバーは外さないでください。接続できなくなります。**



⑵ソケットを止水栓に固定します。



※ソケットカバーを持って締め付けたり、ソケットカバーに工具を掛けないでください。破損し、漏水の原因となります。

※ソケットの締め付けが不十分であったり、強く締め付けすぎると漏水の原因となります。

※締め付けは、ソケット本体に工具を掛けて行ってください。

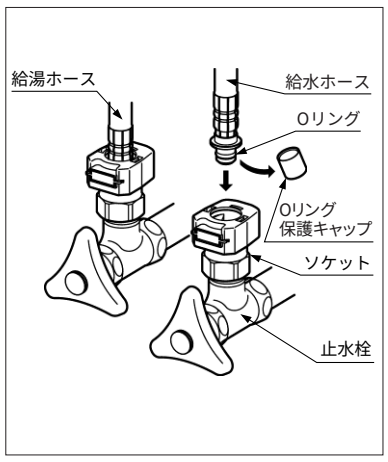
※ソケットは締め付けたとき、必ずしも図のような向きになるとは限りません。

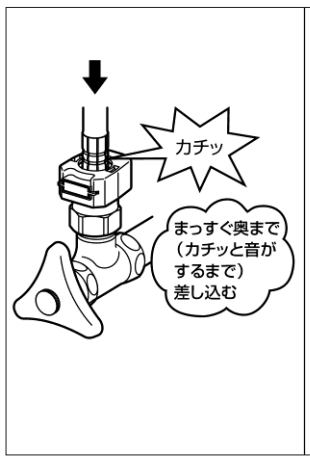
4. 給水・給湯ホースとソケットの接続

給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、ホースをソケットに**まっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）**差し込みます。

確実に差し込まれていない場合、漏水の原因となります。

※Oリングに傷をつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因になります。





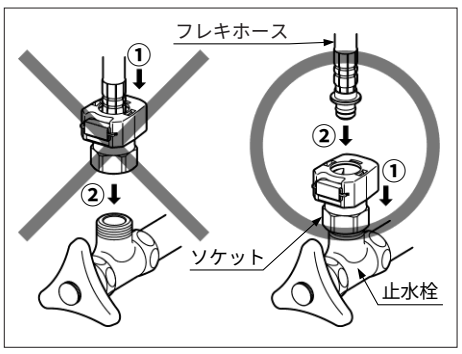
重要

給水・給湯ホースをまっすぐ上に引っ張って、抜けないことを必ず確認してください。

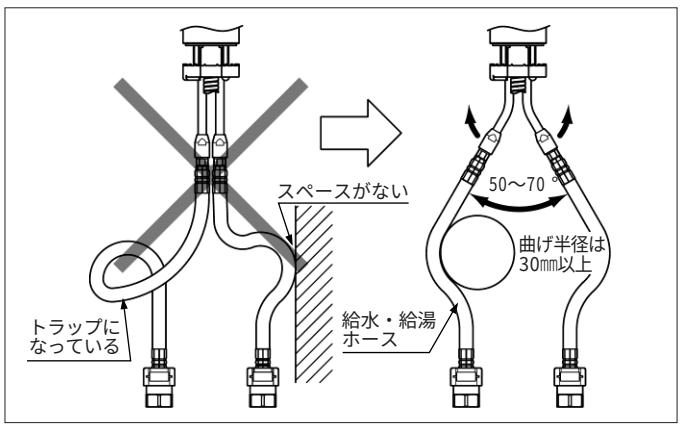
確実に差し込まれないと、漏水の原因となります。

※ソケットをフレキホースと先に接続してから、止水栓に固定することはおやめください。ソケットやフレキホースに無理な力がかかる場合があり、破損、漏水の原因となります。

※給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30㎜以上確保してください。無理に曲げるとホースが破損し、漏水の原因となります。

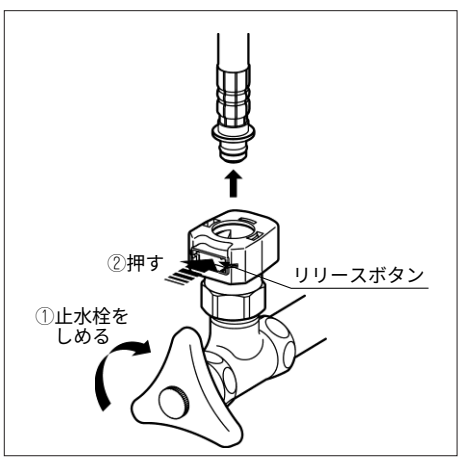


※フレキホースの長さが余り、ホースが無理に曲がるなどの不具合を生じるときは、水栓の銅管を曲げ、ホースの曲がり方を調節してください。



ホースを外すときは止水栓をしめて、水が止まっているのを確認してから行ってください。ソケット側面の青いシールをはがし、リリースボタンを押しながらホースを上に引けば外れます。

※むやみに青いシールをはがさないでください。

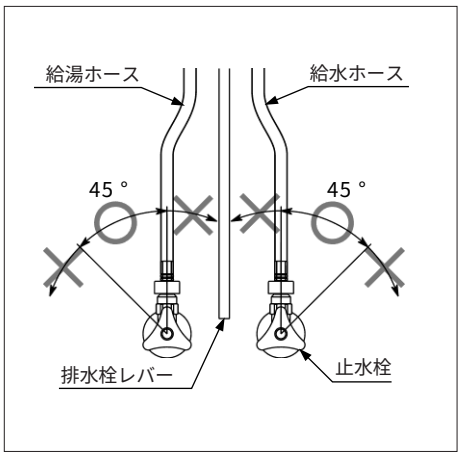


〔給水・給湯の取出位置によって止水栓を垂直に取付けできない場合〕

※止水栓の向きを図のように外側に約45 以内で傾けて、給水・給湯ホースが無理に曲がらないように調節してください。

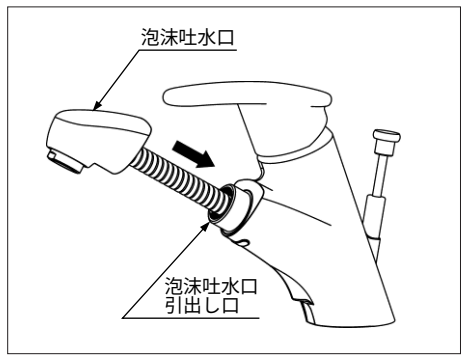
内側に傾けると、排水栓レバーがホースと接触し重くなる場合がありますのでご注意ください。

（ポップアップ式のみ）



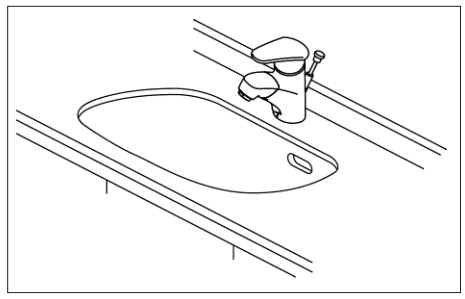
5. ホースとカプラー式ソケットの接続

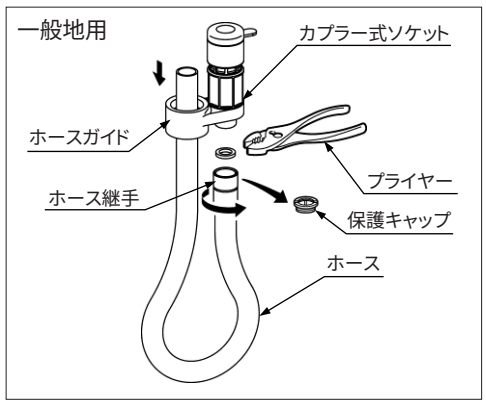
⑴泡沫吐水口を泡沫吐水口引出し口へ納めます。

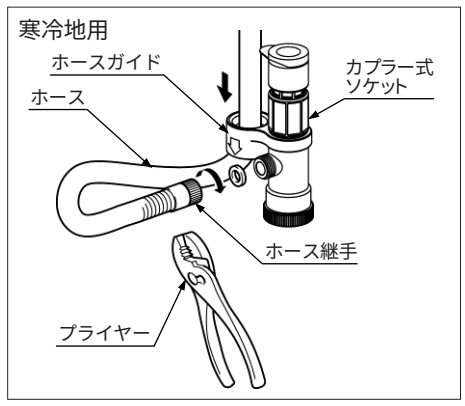


〔水平取付の場合〕

⑵泡沫吐水口のホースをホースガイドに表示の矢印通りにホースガイドに通し、カプラー式ソケットにホース継手をプライヤー等でしっかりと接続します。





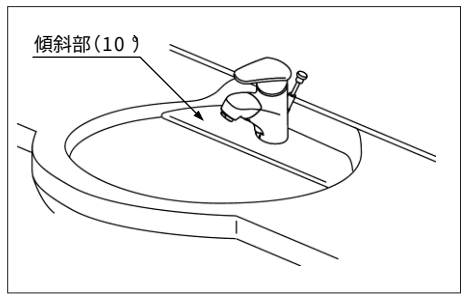


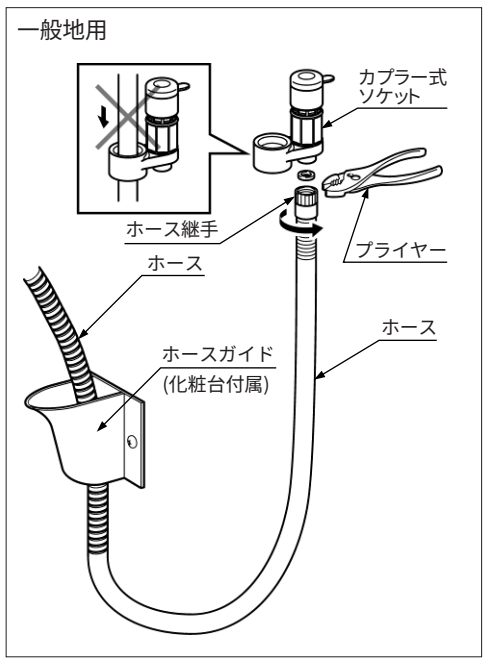
〔10 傾斜取付の場合〕

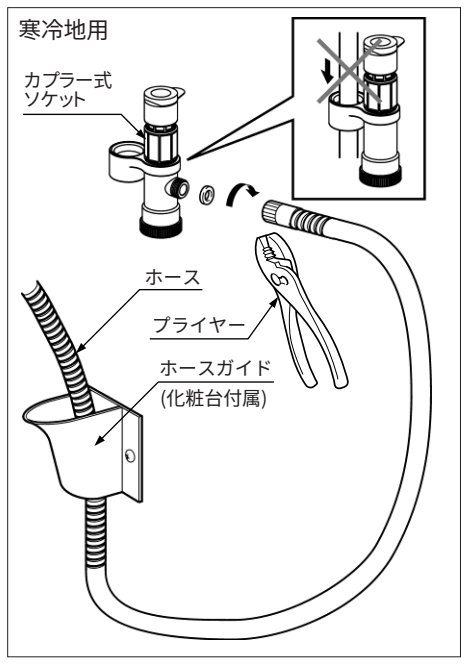
⑵化粧台付属のホースガイドにホースを通し、カプラー式ソケットにホース継手をプライヤー等でしっかり接続します。

※ホースガイド取付位置は、化粧台の施工説明書をご覧ください。

※水栓付属のホースガイドは使用しません。

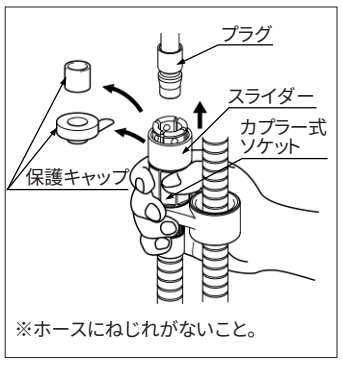






6. プラグとカプラー式ソケットの接続

⑴カプラー式ソケットとプラグの保護キャップを外し、カプラー式ソケットをプラグに差し込みます。



注意

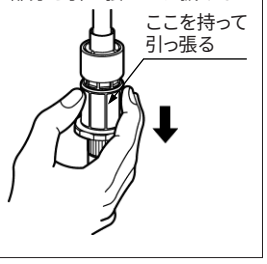
●カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

●スライダーが上がっていることを確認してください。

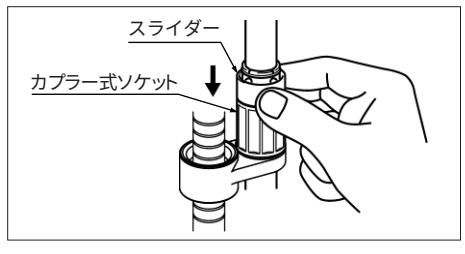
※正しく取り付けられていないと、漏水の原因となります。

確認

カプラ―式ソケットのスライダーより下の部分を引っ張って、抜けないこと。

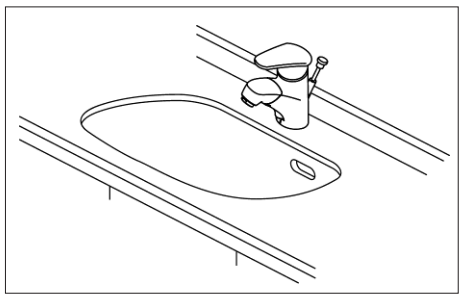


⑵カプラー式ソケットを外すときは、スライダーを下げながら、カプラー式ソケットを下に引っ張る。

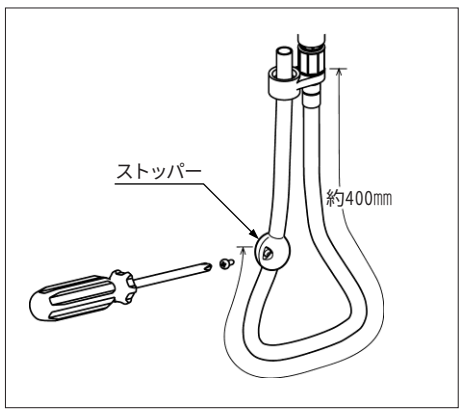


7. ストッパーの固定

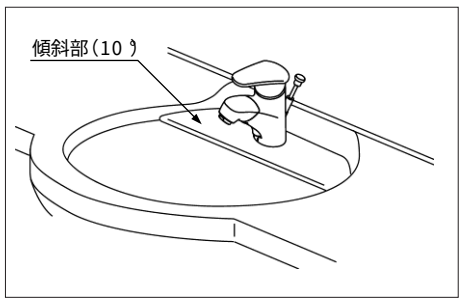
〔水平取付の場合〕



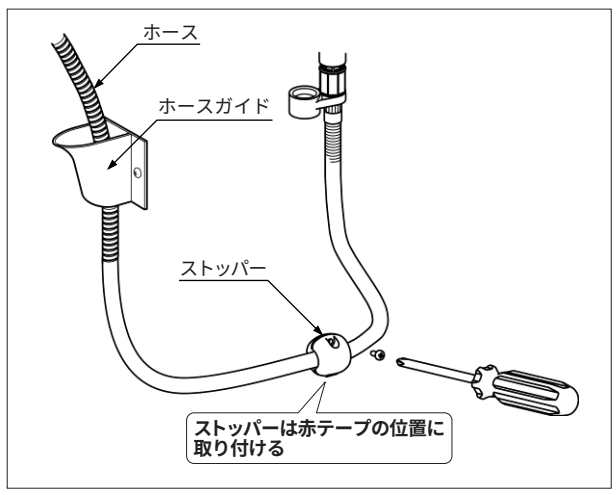
泡沫吐水口を引出し口に納めた状態で、ストッパーを右図の位置に取り付けます。



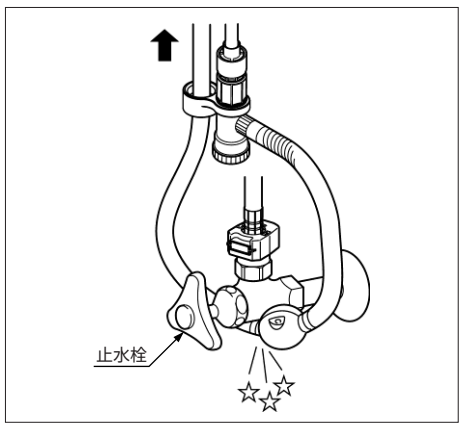
〔10 傾斜取付の場合〕



ストッパーをホースの赤テープの位置に取り付けます。

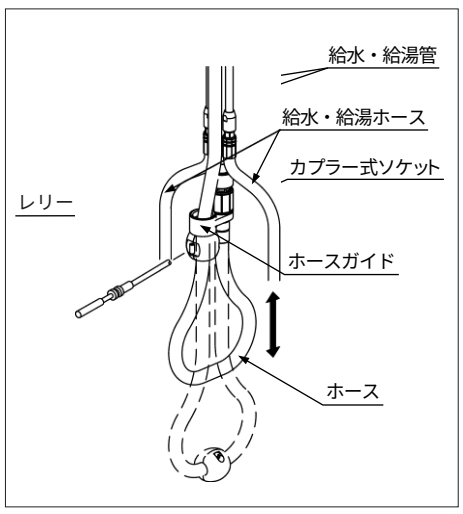


ホースをいっぱいまで引き出したとき、止水栓などに引っかかる場合は、ストッパーの位置を赤テープの位置にかかわらず調節してください。
ホース引出し長さは300㎜を目安としてください。



8. ホース収納性の確認

泡沫吐水口を出し入れし、ホースガイドが給水・給湯ホースと干渉せずに上下に動くことを確認してください。
上に動くときは、カプラー式ソケットで止まります。
※ホースガイドが給水・給湯ホースと干渉する場合は、給水・給湯管を、軽く曲げてホースの干渉を避けてください。



9. レリーズの取付け

排水器具付属の施工説明書を確認ください。

●施工後の調節

以下の手順で調節してください。

1. 流量調節

●水圧が高い場合、過剰な流量で通水すると、切替レバーの表示と異なる箇所からも水が出る場合がありますので、止水栓（別売）で適正流量に絞ってください。
●水栓の機能を十分発揮させるため、水圧が0.2MPa {2kgf/㎠} を越える場合は、湯と水の吐出量が同じになるように水側の止水栓（別売）を絞ってください。

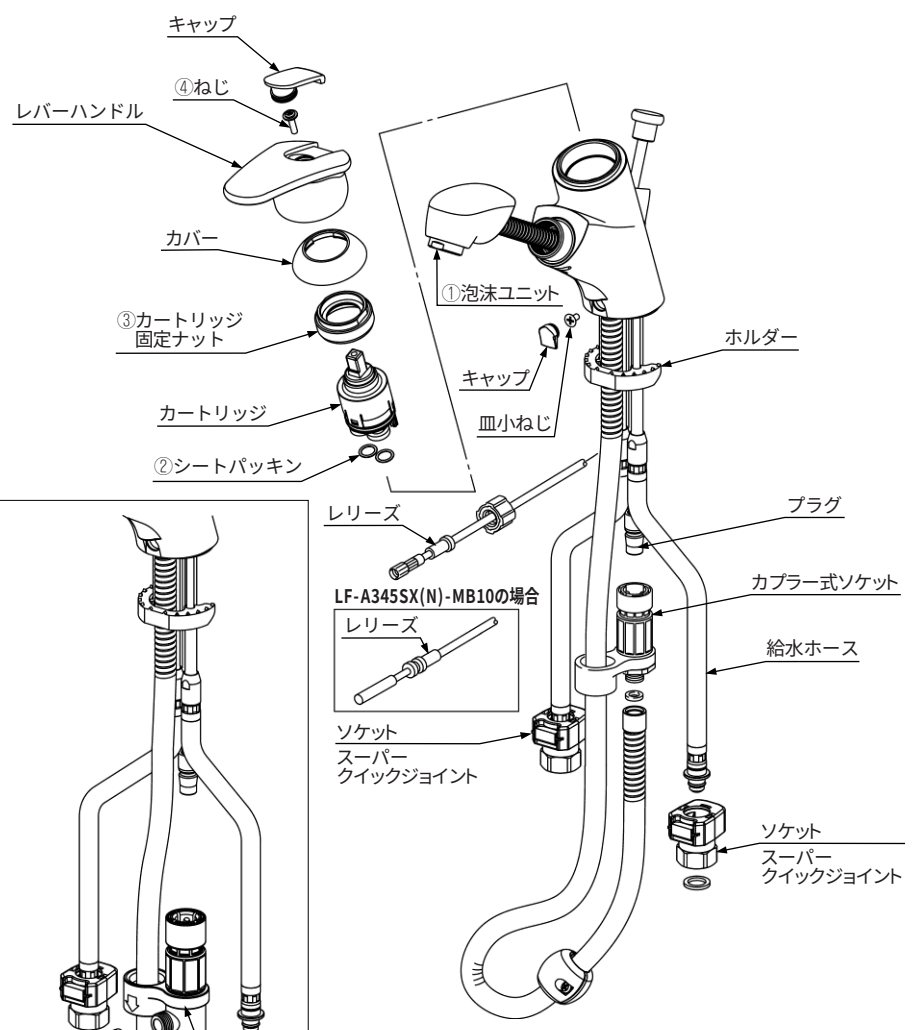
●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。
※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。
このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。
ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ固定ナットを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。
切替レバーの表示と異なる箇所から水が出る	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
	泡沫ユニットにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？		ねじをしっかりと締める。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ねじをしっかりと締める。



□ 内は寒冷地用です。